

WWFジャパン

シリーズ自治体担当者に聞く！脱炭素施策事例集 ウェビナー編

中小企業の脱炭素支援策・豊田市 脱炭素スクールについて

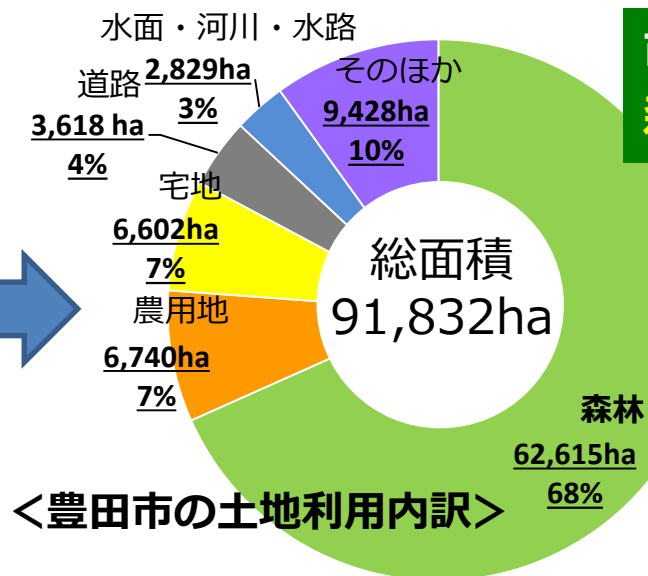
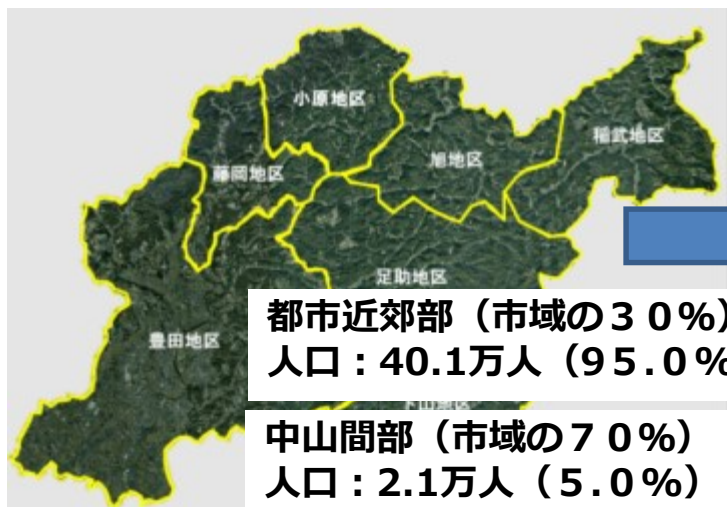
令和4年6月15日

愛知県豊田市環境部 環境政策課



豊田市の概要「日本の縮図 都市と山村地域の共存」

2005年に6町村と合併



市域の7割を
森林が占める



ものづくりのまち

ものづくり産業集積地



FCV



トヨタ自動車本社

PHV

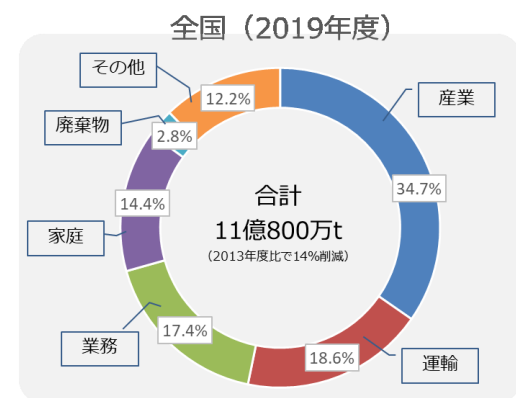
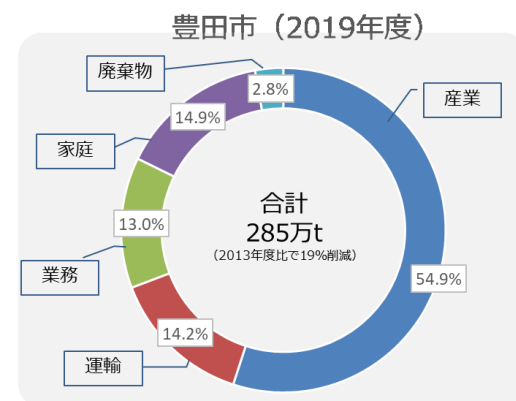
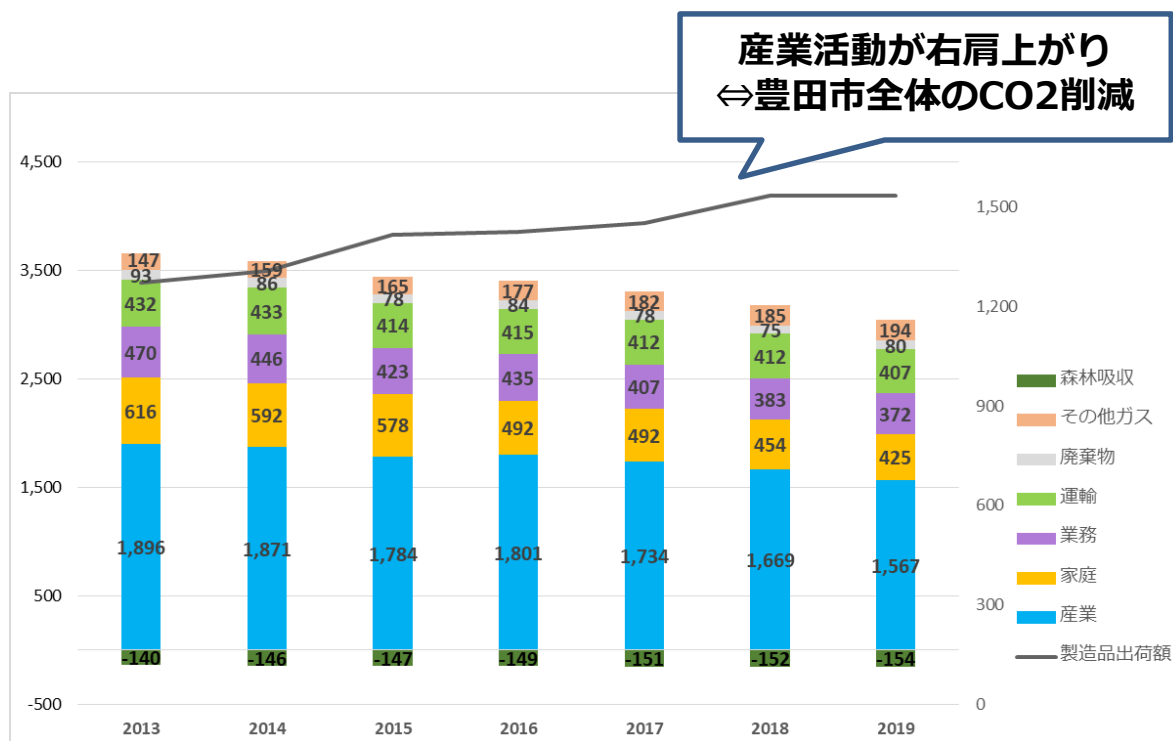


国内有数の産業規模

豊田市の製造品出荷額等は、
2002年から連続して全国一位

CO2排出量の状況等

- 2019.11 「ゼロカーボンシティ」宣言
- 2022.3 「豊田市地球温暖化防止行動計画」（区域施策編）の見直し
- **各部門で着実にCO₂を削減（2013年度比▲18%）**
（産業部門▲17%、 民生部門▲26%、 運輸部門▲7%）



⇒製造品出荷額等が20%増加したのに対し、CO₂は約20%減少

⇒自動車産業を中心とする製造業のまちとして、産業部門の占める割合が高い。

サプライチェーン全体で排出量の把握⇒中小企業への支援



Scope 1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope 2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope 3 : Scope 1、Scope 2 以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

サプライチェーン排出量 = **Scope 1 排出量** + **Scope 2 排出量** + **Scope 3 排出量**

- 中小企業においては、製造業を中心にCO2排出量の算定が必然な時代
- CN対策は、環境の問題だけでなく、経済・雇用の問題と認識
- 急激なカーボンニュートラル促進の影響を受ける中小企業に対する設備導入支援や、脱炭素経営の促進支援が必要。

中小企業へのCN支援策

CN
支援

創エネ

人材
育成

相談

カーボンニュートラル創エネ促進補助金

(R4年度新設)

対象者 : 製造業を営む市内の中小企業（事業所）
対象事業 : 再エネ発電設備（出力10kW以上。自家消費に限る）
対象経費 : 設備費、工事費（補強工事費含む。）、調査費、設計費等
補助金額 : 対象経費の1/2（上限3,000万円）

豊田市脱炭素スクール

(R3年度下期から)

対象者 : 市内中小企業の経営層（20社程度）
事業内容 : CO2排出量の算定、事例紹介、アクションプラン作成、発表等
参加費 : 無料
⇒詳細は次頁以降参照

カーボンニュートラル相談窓口

(R4年度新設)

対象者 : 市内事業者
相談内容 : CO2の見える化、削減ポイント、補助金活用等
相談期間 : 1回当たり60分程度（上限3回）
⇒相談後は具体的に取り組めることをフィードバック
参加費 : 無料

豊田市脱炭素スクールの概要

1 実施時期

2021年10月～2022年9月（全10回）

2 目的

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、中小企業の事業者を中心に事業者の自主的な脱炭素化の取組実現を支援し、豊田市内の産業や業務部門におけるCO₂削減につなげる。

3 対象

対象企業：市内に本社を置く中小企業。

参加者：経営層、総務企画部門や環境部門等の責任者など。

4 スクール内容

セミナー：第1回（自由参加）

講義：脱炭素経営知識

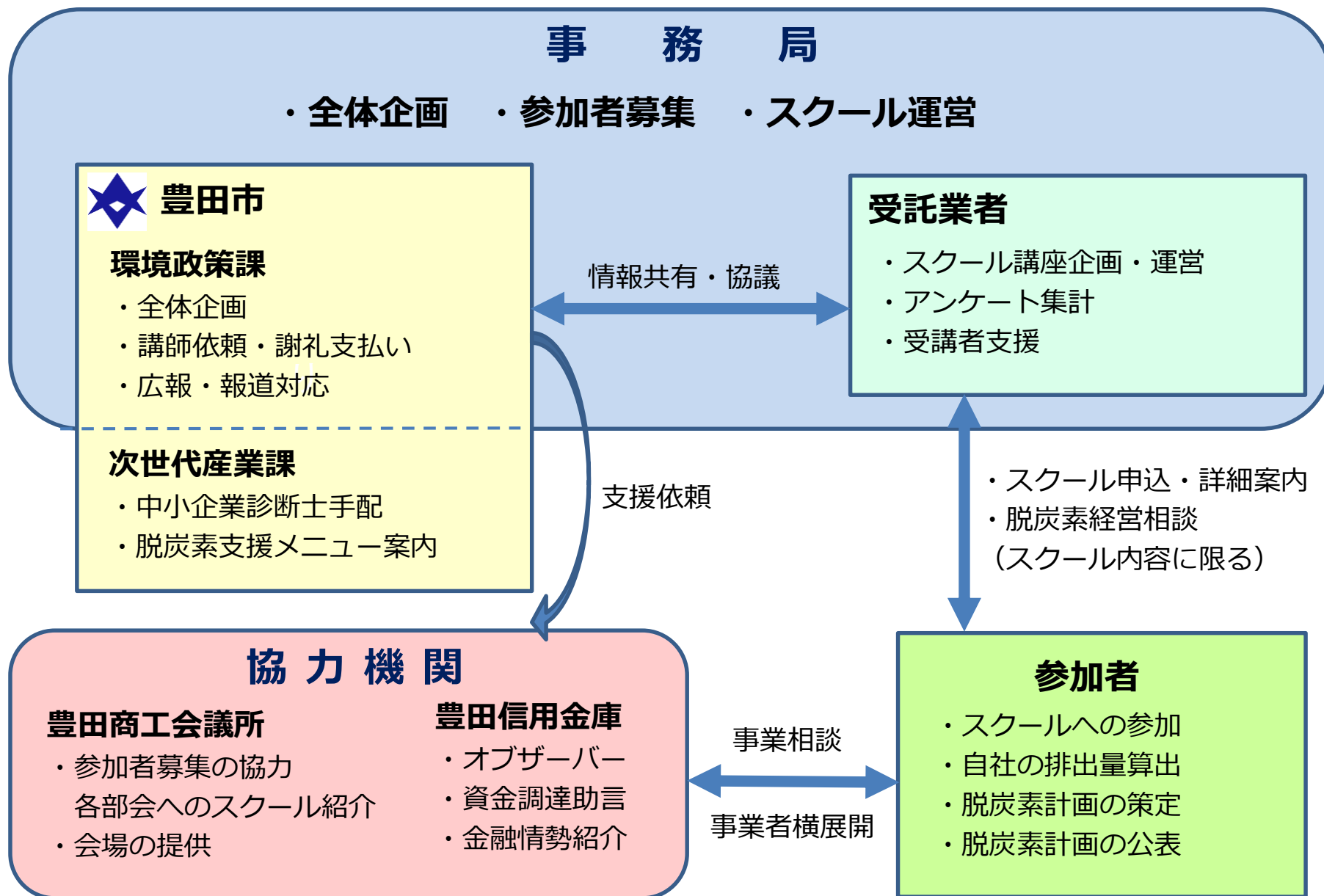
実習：排出量算出、脱炭素経営計画作成

5 修了要件

- ①すべての講座受講
- ②本講座成果のとりまとめ・発表
- ③企業としての成果の発信（HP等活用）



豊田市脱炭素スクールの運営体制・役割



豊田市脱炭素スクールの参加者

第1期 参加企業(16社) 第2回～第10回

事業種別	建設業	2社
	製造業	10社
	電気事業	1社
	運輸業	2社
	サービス業	1社

資本	1,000万円以上5,000万円未満	10社
	5,000万円以上	6社
従業員	20人未満	5社
	20人～99人	5社
	100人以上	6社

第1期 脱炭素セミナー（開校講演会） 第1回

中小企業に限らず、誰でも参加可能なセミナー。50社参加。

内容：「脱炭素経営の動向と視点を知る」

講師：IGES

豊田市脱炭素スクールの内容

知る

- 脱炭素経営の動向、脱炭素経営における視点
- 脱炭素削減計画の概要
- 脱炭素経営の実践事例

講義

見える化

- 自社の排出量状況を見る化
- サプライチェーン排出量算出（Scope1、2、3）

演習

講義

組み立てる

- 省エネ、再エネ取組のとりまとめ
- 脱炭素化目標設定
- 脱炭素経営アクションプランの作成

演習

講義

発信する

- 修了成果発表会

発表

豊田市脱炭素スクールのポイント

- CNに取り組む必要性について企業としての理解
- スクール内容が経営に直接反映できる

経営層向け

- 地元金融機関、商工会議所によるバックアップ
- 補助金等の情報も収集可能

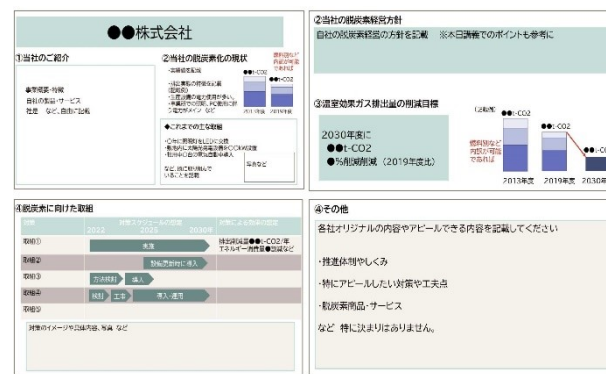
総合的支援

- スクールは通年式を採用。やりっ放しの講座で終わらない
- 専門家が寄り添って支援

知識の定着

メリット

- 全10回の講座に参加すると、脱炭素知識を習得、自社の現状把握、脱炭素経営アクションプランの作成ができる。
(ステップアップできる内容で構成されている)
- 業種間交流ができる。(他社・他業界の状況を把握できる)
- 受託業者、金融機関、中小企業診断士等に具体的な相談ができる。



課題

- 参加者の脱炭素化の進捗に差がある。
→講座内容の変更、グループワークの組合せの調整

ゼロカーボンシティの達成

産業・業務部門におけるCO₂排出量を削減し、
豊田市の脱炭素化を達成します。

中小企業脱炭素経営の活性化

脱炭素スクール修了企業が中心となり、
市内の脱炭素経営を牽引、企業の脱炭素化を活性化します。

受講100者

2025年度までに市内業者100者受講を目指し、
脱炭素経営の人材を育てます。